

ブックトーク「音」

ねらい	「音楽の秋」にちなんで、音に関する本に興味を持つ
対象学年	小学校高学年
時期	秋
所要時間	20 分
紹介する本	『どうぶつのからだ 4 どうぶつの耳』増井 光子/監修 偕成社 『ある日、透きとおる』三枝 理恵/作 岩崎書店 『おんがくねずみジェラルディン -はじめておんがくをきいたねずみのはなし-』レオ=レオニ/作 好学社

導入	さて、今日のテーマはなんでしょう？ ヒント1、それは、目には見えないけれど、存在します。 ヒント2、それは、たたいたり、こすったり、吹いたりすると出てきます。 ヒント3、たくさんのそれがつながると、みんなが感動したり喜んだり踊ったりします。 今回のブックトークのテーマは「音」です。3冊紹介しますね。
1冊目	みなさんは、音を聞く時に体のどこを使いますか？ 耳、ですね。 耳は、人間以外にもいろんな生き物にもついています。音を聞くだけではないようです。 (『どうぶつのからだ 4 どうぶつの耳』を見せる) 表紙にいるのはうさぎですが、では、うさぎの耳には音を聞く以外にどんな役割があるのでしょうか？ (5ページ) よく見ると、血管がすけて見えますね。 (ページをめくる) 暑い日、うさぎは耳を立てて、風に当てます。すると、血管をながれる血が冷えて、体の熱を冷ますことができるんです。 (15 ページ) では、この耳は、なんの生きものの耳でしょうか？ (めくる) コウモリです。ウサギコウモリという種類だそうです。 少し読んでみますね。 この本には、耳の驚きの役割がたくさん載っています。興味のある人は見てみてください。

2冊目	では、ここでいったん、みんなで耳をすましてみましょう。目をつむってください。 このまま、ちょっとだけ、ある本の一部を読みますね。 (『ある日、透きとおる』6ページ7行目ぐらいまでを読む) 目を開けてください。 この本の自分は、ある音が気になって、たどっていき、中学生の女の子がマリンバという木琴を練習しているのを見つけます。 だれだかわからないけれど、「知ってる」そう思った自分は、しばらく観察することにします。 自分はいったいなんなんでしょう?どうして、透き通る存在になってしまったのでしょうか? そして、元の自分に戻れるのか? 友情、すれ違い、親との関係など、共感できるところがたくさんあります。
3冊目	みなさんは、はじめて音楽を聴いたのはいつですか?おぼえていますか? 最後に、はじめて音楽をきいたネズミの話を読みたいと思います。 (『おんがくねずみジェラルディン』を読み聞かせする)
結び	これでブックトークは終わります。 今日、紹介したのは、『どうぶつのからだ4 どうぶつの耳』、『ある日、透きとおる』、『おんがくねずみジェラルディン』の3冊です。 今日、紹介した本のリストが欲しい方は、こちらにありますので、自由に持って行ってください。